

科目名 Course Name	リスクマネジメント論 Theory of Risk Management				ナンバリング No.	E3 - 004	
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡方法	C-Learning にて対応、オフィスアワー:本館2F(研究室)4月～木曜 9:00～16:00(授業・会議時間を除く)						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>本授業では、企業の不祥事を事前に察知し予防すること目的に、不測の損害を最小の費用で効果的に対処するリスクマネジメントのスキルと実務能力を養成する。</p> <p>①グループワークによるプレゼンテーションを通して講義内容を身につけられるようにする。 ②豊かな教養と工学の基礎知識や方法をベースにしたマネジメントに関する基礎知識を育成し、ビジネスの現場をマネジメントできるようにする。 ③国際的視野に立ち、必要な情報を収集・分析して自らの考えを説明することができるようにする。 ④生産性の向上や効果的なシステムの開発をマネジメントできるようにするために必要となるリスクマネジメントに関する知識を体系的に学修できるようにする。</p>						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、リスクマネジメントに精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	①グループワークによるプレゼンテーションを通して講義内容を身につけることができる。 ②豊かな教養と工学の基礎知識や方法をベースにしたマネジメントに関する基礎知識を有し、ビジネスの現場をマネジメントできる。 ③国際的視野に立ち、必要な情報を収集・分析して自らの考えを説明することができる。 ④生産性の向上や効果的なシステムの開発をマネジメントできるようにするために必要となるリスクマネジメントに関する知識を体系的に学修できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、C-Learning 等で個別にフィードバックする。						
教科書/参考図書	長江庸泰作成の“デジタルテキスト[リスクマネジメント論 2026 年度版]”を活用する。						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回 180 分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:46 年)、実務経験をリスクマネジメントの学習・説明等で活用する。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の 3 点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S 評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。			10	
レポート/作品	Sのレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月 1 回計 3 回提出予定(締切は各月末)。			30	
発表	Sのレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んで			20	

佐野日本大学短期大学 2026（令和8）年度シラバス

	いる。				
小テスト	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			20	
試験	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			20	
その他	上記評価基準に基づき成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59				
合 計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	企業のリスクマネジメントの要旨(全体像、基本内容、ガイドライン)、先進企業から学ぶ事業リスクマネジメント。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	リスクマネジメントの定義(事業リスクマネジメントシステム構築の意義/部門別リスクマネジメントから統合的な事業リスクマネジメントへ)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	企業のリスクマネジメントの実務(企業のリスクマネジメント業務の全体像、リスク識別の方法と範囲、インテリジェンスマップ、コントロール・セルフ・アセスメント)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	企業のリスクの評価基準(リスクの定量的評価、リスクの定性的評価、リスク対策のプログラム)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	事業リスクマネジメントシステム構築と維持(事業リスクマネジメント実施体制/事業リスクマネジメント体制構築の準備)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	事業リスクマネジメントシステム構築と維持(全社的リスクマネジメント統括体制/CROを核としての構築/リスクマネージャーの役割/リスクマネジメント委員会の設置/リスク管理部署の設置)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	リスクマネジメント方針(リスクマネジメント方針策定の意義/リスクマネジメント方針と策定)、(グループワークによるプレゼンとディスカッション②)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	リスクマネジメント計画の策定と実施(リスクマップとは/業務別のリスクの洗い出し/現場でのリスクの洗い出しを支援する)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	リスクマネジメント計画の策定と実施(洗い出し対象リスクの範囲/リスク評価指標の決定/リスク戦略/リスクマネジメントの目標/リスク対策の選択)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	クライシスマネジメント方針(方針策定手順と公表/リスクの洗い出しと評価/リスク洗い出しと評価のステップ)/レポート課題説明と出題。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
12	授業内容	クライシスマネジメント計画の策定と実施(リスクファクター別取組み/製品要因リスク/情報セキュリティリスク/市場リスク/信用リスク)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	リスクマネジメント計画の策定と実施(レピュテーションリスク/クライシスマネジメント/事業継続計画(Business Continuity Plan)/内部統制)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	リスクマネジメントシステムの評価と是正・改善(リスクマネジメントパフォーマンス評価/評価指標の設定/評価の実施)、(グループワークによるプレゼンとディスカッション③)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	リスクマネジメントシステムの評価と是正・改善(是正・改善の継続的实施/組織の高経営責任者によるレビュー/リスクマネジメントシステム監査)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。